

防災協だより (123号)

【発行所】(公社) 神奈川県高圧ガス防災協議会
横浜市中区北仲通4-40 (商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454
【編集責任者】企画部会長 東山 泰三
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

第5回 通常総会が開催される (通算第44回)

通常総会は、公益法人移行後の節目となる第5回を数え、神奈川県をはじめ、神奈川県警察本部、神奈川県消防長会長、横浜市、相模原市の消防、県内高圧ガス保安団体等、数多くのご来賓にご出席いただき、5月19日(金)ホテルモントレ横浜のビクトリア会場において開催されました。

本年度は、役員改選期ではありませんが、9名の退任

理事、定款変更等もあり、議事は、「平成28年度事業報告及び収支決算報告」、「補欠理事の選任」、「定款の一部改定」、「会費規定の一部改定」等多岐に亘り審議され、15時55分総会は、無事閉会しました。

休憩を挟み、退任理事への感謝状並びに優良運送員の表彰式を行い、お二方のご来賓ご挨拶を頂いた後、第5回通常総会は散会しました。

公益社団法人 神奈川県高圧ガス防災協議会

平成29年度 (通算44回) 第5回 通常総会

会長あいさつ

布施 重男



本日、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の第5回通常総会に、会員の皆様には、大変お忙しいところご出席を戴き誠にありがとうございます。

また、ご来賓として神奈川県安全防災局工業保安課穂積課長をはじめ県警察本部や消防局、そして関係保安団体の方々には、公務ご多忙中にもかかわらずご臨席を賜り誠に恐縮でございます。

皆様方には、日頃より当防災協議会の事業活動に多大なるご指導と、またご支援ご協力を賜り、誠に有難く感謝申し上げる次第でございます。

当協議会は、昭和47年5月に設立し今年で45年、公益社団法人に移行してから、早5回目の通常総会を迎えることが出来ました。45年という長い歴史の中で『公共の安全確保』特に高圧ガスの移動途上における事故・災害の発生及びその拡大防止に努めて参りました。お陰様をもちまして、神奈川県下での高圧ガスに係わる重大な事故は発生しておりません。これはひとえに行政関係各署と会員各社の連携と不断の努力の賜物と深く感謝申し上げます。

先ほど、行政と会員各社の連携と申しましたが、県下におきましても来年から高圧ガス保安法における事務・権限が、コンビナート等一部を除き政令指定都市に移管されます。県と政令指定都市と窓口が複数となり少々戸惑いもありますが、着々と準備は進んでおる

ようでございます。連携を密にしていかなければと思っております。

さて、平成29年度の事業計画でございますが、ほぼ前年度を踏襲した形での事業内容となっております、その一部ご紹介させていただきます。

まず1つ目の『高圧ガス防災体制の構築』における「防災事業所の防災体制の整備」ですが、既に実施したアンケート及びヒヤリング等調査結果を踏まえ、本年は新規防災事業所体制への移行を実施します。

また、高圧ガス事故に係る防災訓練として実施する「神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練」が、本年度は横浜地区で開催されます。昨年は川崎地区で開催され、参加者160名、見学者を含め430名余のご参加をいただき盛大に挙行されました。昨年4月に熊本県で最大震度7という連続した大地震が発生、甚大な被害を被ったことを受け、より熱の入った緊張感のある訓練だったと感じております。地震等天災は、防ぐ手立てはありませんが、被害の軽減・拡大防止からも、訓練の必要性をより痛感した次第です。

そのほか「高圧ガスの運送・移動に係る講習及び保安教育」の実施と、「神奈川県高圧ガス火薬類保安大会」への参画も例年通り含まれております。

本年も、以上のような事業活動を展開し、高圧ガスに係わる保安の確保に全力を傾注してまいり所存でございます。

そして、すべての高圧ガスに係わる事業所から事故災害が無きよう自主保安を推進すると共に、関係機関との連携体制の充実を図って参ります。

最後になりますが、本日総会の円滑な進行と共に、今後とも公共の安全確保に向けた当防災協議会への、益々のご支援ご協力をお願い申し上げます。

来賓ごあいさつ

神奈川県安全防災局安全防災部工業保安課

課長 穂積 克宏 様



ただいまご紹介いただきました、神奈川県安全防災局工業保安課長の穂積です。

本日は、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、第5回総会にお招きいただきまして、ありがとうございます。ご指名ですので、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、高圧ガスの運送途上での災害防止に当たり、日夜多大なるご尽力をいただいておりますこと、この場をお借りしてお礼申し上げます次第でございます。

特に昨年6月に葉山町で発見された高圧ガスの不明容器の処理に当たりますには、容器の腐食が著しく、破裂の危険もある状況の中で、防災事業所の皆様が懸命な作業を行って下さいました結果、容器を無事に回収することが出来、改めて現地で対応して下さった方々に敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

また、本日感謝状並びに優良運送員表彰を授与された皆さん誠におめでとうございます。

日ごろより防災協議会事業に参加し、また、高圧

ガスの運送に係わる保安の確保にご尽力いただきましたことにお礼申し上げますと共に、この場を借りて改めてお祝い申し上げます。

また、長きに亘り本県の高圧ガス防災事業と災害防止を担ってまいりました防災事業制度につきましても、対象とする説明会を開催し、現行制度への理解を深めていただくことにたいして、防災担当者のご理解とご協力をいただきましたことに、お礼申し上げます。

皆様、業務御多忙の中、長い間御対応いただき、ありがとうございました。

本年度は、防災事業所制度が大きく変わると、先ほど報告がございました。県としても引き続き皆様と一緒に、万全な防災体制を築いていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後に、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の益々のご発展と、お集まりの皆様のご健康を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

〔ご臨席いただいたご来賓の方々〕

・ 神奈川県安全防災局安全防災部工業保安課	課 長	穂積 克宏
・ 神奈川県警察本部生活安全部生活安全課	課長補佐	玉井 祥啓
・ 神奈川県警察本部警備部危機管理対策課	課長補佐	叶野 哲也
・ 神奈川県消防長会長代理川崎市消防局予防部	担当部長	七條 勇佑
・ 横浜市消防局	予防部長	坂本 浩
・ 相模原市消防局	参事兼予防課長	鈴木 伸一
・ 一般社団法人神奈川県高圧ガス保安協会	常任理事	森 秀樹
・ 公益社団法人神奈川県LPガス協会	専務理事	大島 雅弘
・ 一般社団法人神奈川県高圧ガス流通保安協会	理 事	河西 哲男
・ 川崎市消防局予防部危険物課	主 任	緒方 裕樹
・ 横浜市消防局予防部保安課	課 長	加賀谷敦己

来賓ごあいさつ

神奈川県消防長会会長代理

川崎市消防局予防部担当部長 七條 勇佑 様



ただいまご紹介を賜りました、川崎市消防局予防部担当部長の七條でございます。

本来ですと、神奈川県消防長会会長であります、川崎市消防局長の田中が参りまして、皆様にご挨拶すべきところでございますが、他の公務により出席できないため、くれぐれも皆様によろしくお伝えください、とのことでございました。

本日は会長の田中から挨拶を預かってまいりましたので、代読により挨拶に代えさせていただきますと存じます。

本日は、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の第5回通常総会が、このように盛大に開催されましたことに、お喜び申し上げます。

はじめに、ただいま感謝状並びに表彰状を受賞されました皆様に対し、このたびの栄えある受賞を、心よりお祝い申し上げます。皆様の多年にわたる防災への惜しみないご尽力、そして、ゆるぎない信念にて成し遂げられましたご功績に、敬意を表する次第であります。

協議会の皆様方には、平素から各種講習会の開催をはじめ、防災訓練や地域の防災体制の整備など、高圧ガスの保安確保に向け、積極的に取り組まれ、県内24消防本部を代表いたしまして、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

さて、昨年度は、全国的に見ますと、最大震度7を2回記録した熊本地震や北海道、岩手県をはじめ多くの地域で河川氾濫を引き起こした集中豪雨など、大規模な自然災害に加えて、新潟県糸魚川市において極めて甚大な被害をもたらした大規模火災、さらに埼玉県三芳町においては、大規模な倉庫で火災が延焼拡大し、消火活動に長時間を要した火災は記憶に新しく、これら大規模かつ複雑多様化する災害等に備えるため、消防車両・資機材の充実や消防

署所の整備など、災害対応能力の強化や人命救助体制を確立していく必要があると考えております。

このような状況の中、県民の皆様の安全で安心な暮らしに対する関心はますます高く、消防機関に寄せられる期待も大変大きなものがございます。

大規模災害等が発生した場合、一消防機関だけでは対処が困難な事案も多数予想されます。今後は、地域の皆様はもとより、国、県、市町村の防災関係機関、さらには、神奈川県高圧ガス防災協議会をはじめ、各種公共団体、民間企業等が一体となり連携を強化することにより、大規模災害に対応できるよう、日頃から協力体制の構築に向け確実に取り組んでいきたいと考えており、県内各消防本部との情報を共有しながら、県民の皆様の期待にしっかりと応えてまいりたいと考えております。

また、地方分権改革により、高圧ガス保安法の事務・権限が平成30年度に神奈川県から各政令指定都市に一部移譲される予定であり、高圧ガスに係る保安確保につきましても、皆様方とより緊密な連携をとりながら、更なる充実強化を図るため、日頃から協力体制の構築に向け確実に取り組んでまいりたいと考えております。

どうか、皆様におかれましては、引き続き変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

平成29年5月19日、神奈川県消防長会会長 田中経康

本日は、誠におめでとうございます。

平成29年度 事業計画

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1 高圧ガス防災体制の構築

(1) 防災事業所等の防災体制整備

① 防災体制整備に伴う新規防災事業所体制

防災事業所新規体制の構築に向けた作業は、平成26年度のアンケート調査、27年度は三重県、埼玉県とのヒヤリング調査を実施し、平成28年度はこれら双方の結果踏まえ、防災事業所の新体制構築に向けた取組みを行ってきました。

本年度は、新規の防災事業所体制が早期に機能するべく、下記内容について作業を進めてまいります。

- ア 会長が交付する防災事業所指定書を防災事業所に送付
- イ 防災事業所からの承諾書受理その内容確認
- ウ 防災事業所新体制について防災事業所並びに関係者への周知
- エ 防災事業所一覧記載事項の最終確認（緊急連絡先〔電話番号、所属等〕）

② 県・警察・消防・防災事業所連絡会議

防災協議会からの連絡会議へ出席いただいている方々は、防災事業所及び地区委員会委員で構成されています。今後、防災事業所の再編に伴い連絡会議への出席者が代わることも考えられますが、当面は、昨年と同様の出席メンバー、開催場所で連絡会議を運用いたします。

(2) 各種高圧ガス運送車両の点検指導

運送車両は、高圧ガスを運搬するうえで警戒標をはじめ、移動時における事故等に備え緊急資材・保護具等の携行が求められます。これらは、自身の認識において十分と判断しても、第三者から見た場合は、往々にして欠陥・間違い等があります。

これらの状況是正と遵法を目的に、昨年と同様、車両の点検指導を実施します。

- ① 高圧ガスばら積み運送車両点検指導
10月1日～31日の間に実施する。
- ② 一般高圧ガスタンクローリー車両点検指導
11月1日～30日の間に実施する。

(3) 高圧ガス事故に係る防災訓練

① 神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

県及び関係保安団体が主催する「平成29年度神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練」は、横浜地区において実施されます。

防災協議会では訓練に参加し空気呼吸器装着訓練、高圧ガス運送途上緊急措置訓練を実施する。

開催場所：内買バース

横浜市西区みなとみらい1丁目

開催日時：平成29年10月18日（水）

13時～16時

※開催日までのスケジュールは、第1～3回の全体会議（7月上旬～9月中旬）を経て、10月12日のリハーサルまでとする。

② 防災事業所緊急出動訓練

新防災事業所体制が軌道に乗る間、ミニ防災訓練は、昨年と同様指定する6地区の事業所において実施する。一方、自主防災緊急出動訓練については、今までどおり実施していただきますが、公的機関からの出動要請に対し対応可能な体制作り注力する。具体的には、公的機関からの出動要請に対し社内連絡網（特に休日・夜間体制。）について検証し、再確認をお願いすると共に、緊急措置訓練にも社内連絡網に沿った呼び出し等を訓練に取り込み実施していただきたいと思っております。

2 高圧ガスの運送・移動に係る講習及び教育

神奈川県の後援をいただき、「高圧ガス運送基準指導講習」及び「高圧ガス運送指導員資格取得更新講習」を実施します。またKHKの委託事業として「高圧ガス移動監視者講習検定」についても同様に実施します。

- ・高圧ガス運送基準指導講習
- ・高圧ガス運送指導員資格取得更新講習
- ・高圧ガス移動監視者講習検定

3 その他事業

県内、県外を問わず関係保安団体との交流を深め、連携強化を図ると共に、関係団体の協力の下、事故災害防止を目的とした、的確かつ迅速な情報収集に努めます。

① 神奈川県高圧ガス火薬類保安大会

高圧ガスを製造し又は取り扱う事業所及び従事者に対し、保安意識とその高揚を図る目的から、工業保安強調月間期間中に保安功労者（個人・団体）及び防災協議会会長表彰を行います。

また、これら式典を執り行う行政、関係団体との協力にも努めます。

② 部会県外研修見学会

他県において開催する防災訓練や、地域防災協議会との意見交換を行う目的で、毎年開催していますが、本年度については、早期に実施要綱等を取り纏め（開催日時、開催場所等）会員の方々に提示し、より多くの会員参加者を募って行きます。

③ 広報

高圧ガスの移動に係る法令、運送基準等を始め、他県の情報について収集を図り、会員に対し迅速かつ正確な情報をホームページ、機関誌等に掲載します。

④ 事業推進に向けた各種会議の開催や関係団体との会議・打合せ等にも積極的に参加します。

以上

感謝状及び表彰状の贈呈

本年度の総会をもって退任された理事、並びに、運送事業所より推薦された17名の優良運送員の方々への賞状授与式が総会の席上執り行われました。

理事の皆様には、理事会をはじめ各種委員会等への参加をいただき、心よりお礼を申し上げます。また、優良運送員の方々には表彰を機に、一層の高圧ガスの安全な取り扱いと安全運転に心掛け、高圧ガスの保安確保に努めて頂きたいと思っております。

感謝状（退任理事）

島村 佳治	昭和電工(株)川崎事業所
鈴木 常夫	新相模酸素(株)
若林 満	横浜ケミカル(株)
駒見 直喜	(公社)神奈川県LPガス協会
齋藤 俊秋	大光陸運(株)
野本 勝郎	高圧ガス工業(株)神奈川工場
鳥飼 隆昭	JXTGエネルギー(株)根岸製油所
小野洋一郎	(株)エネックス関東LNG支店
志賀 位	東横化学(株)



表彰状（優良運送員）

北上 敏男	楠原輸送(株)川崎扇町車庫
政所 昭二	中央運輸(株)
高橋 彰	内田商事(株)
蟹谷 仁志	神農流通(株)
久保田義茂	大光陸運(株)川崎営業所
丸山 幸子	極東運輸(株)
打田 孝司	(株)三春商会
佐藤 誠一	丸一輸送興業(株)
吉井 正樹	日産運輸(株)相模原営業所
末廣 慎司	楠原輸送(株)川崎扇町車庫
花田 輝文	中央運輸(株)
中元 篤寿	神農流通(株)
羽根田秀一	大光陸運(株)川崎営業所
牧内 雅光	極東運輸(株)
大貫 哲也	(株)三春商会
野口 俊二	丸一輸送興業(株)
高澤 浩二	日産運輸(株)川崎営業所



神奈川県工業保安関係部署異動状況 (平成29年4月1日付)

部署・職位	氏名	部署・職位	氏名
安全防災局長	河原 知徳	安全防災局副局長兼総務室長	花田 忠雄
安全防災局参事監	岡崎 勝司	安全防災部長	杉原 英和
総務室企画調整担当課長	松岡 一仁	総務室管理担当課長	千葉 剛
危機管理対策課長	上田 尚弘	災害対策課長	佐川 範久
応急対策担当課長	菅野 重和	消防課長	中村 純也
工業保安課 (所轄地域: 横浜市、川崎市) 045-210-3475 Fax045-210-8830 (共通)			
工業保安課長	穂積 克宏		
火薬電気グループ 045-210-3475			
課長代理・グループリーダー	佐藤 英樹	主査(事務)	小島 茂夫
主査(技術)	村田 千裕	主任主事	中川 大輔
非常勤	石原真理子		
コンビナートグループ 045-210-3479			
グループリーダー	工藤 美子	主査(事務)	小澤 俊夫
主査(技術)	太田 浩史	主査(技術)	出澤 晃一
技師	田澤 慧	技師	豊島 良祐
非常勤	原 秀幸		
高圧ガスグループ 045-210-3484、3489			
グループリーダー	中田 康博	主査(技術)	加藤 文雄
主査(技術)	保坂 由文	主査(技術)	丹羽 太一
主任主事	安宅倫太郎	技師	菊地麻希子
主任専門員	島田 和彦	臨時技師	竹生田秀夫
横須賀三浦地域県政総合センター 046-823-0210 Fax 046-824-2459			
所管地域: 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町			
所長(事務)	鈴木 宣男	環境部長(技術)	人見 孝
環境課長(技術)	森田 康裕	技師	鈴木理沙子
専門員	井上 範子		
県央地域県政総合センター 046-224-1111 Fax 046-225-5218			
所管地域: 相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村			
所長(事務)	船本 和則	環境部長(技術)	内山 和子
環境保全課長(技術)	斎藤 邦彦	主査(技術)	堀部 英基
主査(事務)	稲葉 健治	技師	青沼千亜紀
技師	森田菜津美		
湘南地域県政総合センター 0463-22-2711 Fax 0463-24-3608			
所管地域: 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町			
所長(事務)	太田 良勝	環境部長(技術)	矢板千英子
環境保全課長(技術)	長沼 均	主査(技術)	三浦 聡子
主査(事務)	田嶋 幸子	主任技師	柴谷 純人
技師	幸福 卓	非常勤	河口 幹雄
県西地域県政総合センター 0465-32-8000 Fax 0465-32-8111			
所管地域: 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、町田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町			
所長(事務)	星崎 雅司	環境部長(技術)	関 猛彦
環境保全課長(技術)	坂本 広美	副主幹	吾妻 毅
副技幹	大塚 知泰	副技幹	堀田 健治

平成28年度ミニ防災訓練実施結果及び29年度実施事業所

平成28年度の「ミニ防災訓練」は、訓練参加者の確保難、荒天等に影響され実施された会場は、2会場のみとなりました。



平成29年度の模擬訓練は、防災事業所の再編等もありますが、従来と同様の枠組みでミニ防災訓練を実施いたします。

地区	事業所名	地区	事業所名
川崎	昭和電工(株)川崎事業所	湘南	地区合同
横浜	(株)渡商会	県西	(株)ガスネット
横三	(株)三春商会	県央	ロジトライ関東(株)相模原事業部

平成29年度（第45回）神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

訓練開催日時：平成29年10月18日（水）13時～16時

訓練会場：内貿バース（横浜市西区みなとみらい1丁目）

訓練概要：・高圧ガス燃焼特性 ・基本措置訓練 ・取扱形態別訓練等

主催：神奈川県、県内5保安団体

関係機関：横浜市消防局、西消防署、神奈川県警察本部、戸部警察署

会員事業所紹介

東亜合成株式会社 横浜工場

弊社は、1934年（昭和9年）に鶴見埋立事業によって整備された土地に当時、電力王と言われた福沢桃介の嗣子、福沢駒吉が鶴見曹達株式会社を設立し、電解ソーダ事業を開始したところから始まります（福沢駒吉は福沢諭吉の孫にあたります）。当初は川崎にある食品工場への合成塩酸の供給が大きな需要でした。創設以来、東亜合成グループにおける関東地域の拠点として特徴ある製品を輩出してきましたが、2013年1月に東亜合成株式会社と合併し、東亜合成株式会社 横浜工場として新たなスタートを切りました。

当工場の敷地面積は約97,000㎡を有しており、主な事業は基礎化学製品事業であり、か性ソーダ、液化塩素、合成塩酸、次亜塩素酸ソーダ等の無機製品と、高純度塩酸、高純度液化塩化水素等の高純度無機製品を製造しています。無機製品の主な用途は、化学薬品、紙・パルプ、化学繊維、医薬、上下水道、食品など基礎的



な化学品として幅広い用途があります。中でも次亜塩素酸ソーダは「ツルクロン」の商品名で親しまれており、関東地方の上下水道やプール、食品製造ラインの滅菌・殺菌などに使用されています。2011年に発生した東日本大震災の直後には地震の影響により当工場も製造設備にダメージを受け、停止しましたが、迅速に供給体制を整え、官公庁からの要請に応じていち早く製品を出荷し、さらに被災地へも供給するなど、上水道などのライフラインの復旧に大きく貢献しました。

そして高純度無機製品である液化塩化水素は1963年（昭和38年）に日本で最初に製造販売を開始し、その製造技術はソーダ工業会第一回技術賞を受賞するなど、高い技術力が評価されて現在に至ります。この製品の特長は塩化水素ガスを乾燥・無水化し、不純物の量を極限まで減らして製造しますが、1983年（昭和58年）には純度を99.999%以上まで高めた高純度品の製造販売を開始しています。これは、わずかな不純物が大きな影響を与える半導体の製造工程や農業・医薬品の中間原料として使われており、厳しい品質管理が要求されます。現在では当工場の他に徳島工場でも製造しており、当社から出荷できないときは半導体の製造も止まりかねないと言われるほどの重責を担う製品です。製品の荷姿は高圧ガスボンベで25kgボンベと500kgボンベの他に、ISOコンテナがあり、それぞれ専用の充填設備で日々、充填、出荷をしています。また近年では海外へも輸出しており韓国、台湾、中国を中心に東南アジア市場への出荷量も増加しています。

関東という大消費地に立地することもあり、化学製品や高圧ガスを扱う製造工場として安全と安定操業を最優先に工場基盤の強化をより一層進めていきますので、今後ともよろしくご厚意申し上げます。

株式会社 古川

弊社の歴史は、明治44年（1911年）に小田原駅前で海産物問屋を開業したことに始まります。その後、鮮魚を扱う事業には欠かされた製氷業を昭和7年（1932年）に兼営し事業を拡大しました。

更には氷が不要となる冬場を利用し、プロパンガスの将来性に着目し、昭和30年（1955年）にLPガス販売事業を開始。現在では小田原本社を始め、箱延営業所、開成営業所にて灯油・重油配送、住宅販売、太陽光システム販売施工、ボトルドウォーターの製造・供給、メガソーラー発電事業など様々な分野で事業展開しております。

平成25年（2013年）には東日本大震災の教訓を生かし大規模災害が起こった場合でも被災地にLPガス等が安定的に供給出来る様、経済産業省資源エネルギー庁指定の中核充てん所に指定されました。災害時に電力会社からの送電が途絶えてもLPガス非常用発電機を作動しLPガス配送車や緊急自動車により、地域のライフラインの早期復旧と避難所、病院といった重要設備への支援活動にも対応します。

平成26年（2015年）4月には充てん所屋根に東日本地域で初となる、太陽光パネル31.2kwを敷設し災害時には地域への電力支援活動にも対応します。

また、地域住民との交流も大切にしており、毎年行っている事業所防災訓練では地域の皆様と一緒に訓練を実施しております。

「食」と「ライフライン」を提供する事業を通じて、小田原をはじめとする地域の皆様に100年以上の長きに渡り愛され続けております。これらは一見すると関連性の無い事業を手掛けていると感じられるかもしれませんが、弊社が創業以来100年以上に渡り一貫して持ち続けてきたのは、地域の暮らしの安全を保つために無くては

ならない商品やサービスを届けるという責任感です。

先人たちが100年以上に渡り培ってきた、地域の皆様からの厚い信頼。これを大切に、この地に安心で快適な暮らしが出来る住まい方を提案すること。

現在のエネルギー環境は非常に大きな転機を迎えております。快適な暮らしや円滑な経済活動の為に限られたエネルギーを効率よく利用しつつ、美しい地球環境を次世代に引き継ぐことが弊社の使命だと考えております。地域の責任あるエネルギー供給会社として、サービスの向上はもちろんのこと、子どもたちの未来のために環境保全についても積極的に努めていく所存です。

私たち株式会社古川は、次の100年も愛する小田原に貢献するための大きな目的に向かい、着実に歩みたいと存じます。これからも（公社）神奈川高圧ガス防災協議会、会員各社様の変わりぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



会員事業所紹介

大陽日酸株式会社 関東支社

当社は1934年に国内初の空気分離装置を開発しました。この装置で製造するセパレートガス（酸素、窒素、アルゴン）をはじめとする産業ガスを中核事業とし、技術の高度化を図りながら、産業ガスのプロフェッショナルとしての地位を確立してきました。国内の産業ガス市場においてはシェア40%で業界トップです。独自のガステクノロジーを用いて鉄鋼や化学、エレクトロニクス、食品、医療など幅広い分野に産業ガスを安全かつ安定的に供給し、ユーザーの企業活動を力強くサポートしております。

神奈川県内には当社事業所が5箇所あります。空気分離装置等のプラント製作工場である「京浜事業所（川崎市川崎区）」、エレクトロニクスユーザー向け電子材料ガスの特殊高圧ガスをはじめとする多種の高圧ガス容器を貯蔵・管理する「川崎水江事業所（川崎市川崎区）」、南関東エリアの高圧ガスの販売拠点、かつ、同エリアのガス関連設備の設計・施工・保守管理・販売拠点である「関東支社（川崎市幸区）」、パイプラインにより各種ガスをユーザーの製造工場へ供給する「厚木ガスセンター（厚木市）」、さらに、神奈川県中西部地域の営業拠点である「厚木支店（海老名市）」からなります。また、川崎水江事業所では川崎地区の酸素の防災事業所として、高圧ガス移動中の事故に対する対応、放置された不明容器処理に対する対応など、応援助言活動を実施しております。

関東支社では東京都・神奈川県・千葉県・南関東地区に山梨県・長野県を加えた首都圏周辺ユーザーの高圧ガス関連設備の設計・施工・保守管理を行っております。管内の高圧ガスユーザーの自主保安活動の一助として、高圧ガス保安講習会に参加し、最新の保安情報を発信しております。昨年は70件の保安講習会に、講師として社員を派遣しました。

また、近年ではFCV（燃料電池自動車）に水素を供給する水素ステーションの製作・販売に携わっております。定置式のステー

ションだけではなく、設備をトラックに載せて様々な場所に移動してFCVに水素を充填することができるコンパクトな移動式水素ステーションの製造・保守管理を行っております。これらの水素ステーションでは、漏れ易く、燃焼し易い水素を高圧状態(82MPa以上)で取扱うので、より一層慎重な設備の保守管理が求められます。これまでに前例のない高圧で危険性の高い可燃性ガスを取り扱う製造設備ですので、関係行政、ユーザー、各機器のメーカーの皆様と話しながら、最適な保守管理方法について日々検討しております。当社は高圧ガス製造事業所の皆様の自主保安の一助となるよう努めていきます。

我々の企業理念「進取と共創。ガスで未来を拓く」にもありますように、ユーザーの声を敏感にとらえ、ガス技術を通じてあらゆる産業とともに、安心・安全で豊かな社会の実現に貢献するべく、社員一同努めてまいります。

今後とも神奈川県、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の皆様方には、これまで以上のご指導ご鞭撻の程、よろしく申し上げます。



株式会社 三春商会

当社の創業は戦前にさかのぼりますが、昭和26（1955）年12月12日横須賀市三春町に株式会社として発足、地名をとって会社名にしました。

設立と同時に神奈川県より高圧ガスの販売許可、東京陸運局より貨物自動車運送事業の免許を取得して以来、ガスを中心とする運送業・販売業を行っております。この間、昭和30年代に入り民生用燃料としてプロパンガスが世に出ると、いち早くその販売に着手しました。昭和54年にはより広い土地をと、現在地（約1千坪）に本社を移転しました。

主な事業部門は運輸部、産業ガス機材部、LPガス住設部で、起業の祖である運輸部は、大手ガスメーカー様を主な荷主として大型トレーラーや特殊ガス専用車を含めた車輛を所有し、高圧ガス・

危険物に特化した運送を行っております。

産業ガス機材部は酸素ガスや水素ガス等の産業用ガス・溶接棒・溶接機・安全保護用品等を販売しており、三浦半島を中心とした県南部を営業基盤とし、対岸の房総半島にも造船関連のお得意様があります。LPガス住設部は業務用・家庭用LPガスをはじめガス器具・冷暖房機器・システムキッチン等の住宅設備機器を販売しており、近年は太陽光発電設備や燃料電池を利用したエコ商品のほか住宅リフォーム事業の扱いも増えております。

営業所は川崎市、北関東（栃木県那須塩原市）に開設し、地域に密着したユーザーフォローを行っております。

高圧ガスの輸送・販売は産業用・家庭用と多岐にわたるため、安全面や保安の確保には細心の注意を払っており、従業員の大半は高圧ガスに関わる何らかの資格保持者です。年何回かはメーカーや専門家の方々に講師としてお招きし社員教育を行うほか、各種講習会には積極的に参加させ資質の向上に努めております。

このような高圧ガスの保安確保が評価され、昭和45年、平成6年の二度にわたり神奈川県知事より、また昭和48年には通商産業省（現・経済産業省）大臣よりそれぞれ表彰を受けました。運送会社としては、平成15年に創設された「安全性優良事業所制度」いわゆるGマーク認定事業所に、横須賀三浦地区に本社を置く運送会社として初の認定を受けることができました。これもひとえにご愛顧頂いているお客さまをはじめ、関係諸官庁、関係する皆さまの温かいご指導、ご鞭撻の賜と感謝しております。

創立65周年を一つの区切りとして改めて原点に立ち返り、安全と保安の確保にまい進するとともに、お客さまの要望にスピーディに応えられる会社を目指して参ります。



協議会からの “お知らせ” と “お願い”

関東高圧ガス保安団体連合会保安大会の開催（浜松町駅）

開催日時：平成29年7月26日（水）13:30（12:30より受付開始）

開催場所：ホテルアジュール竹芝

記念公演：「再生可能エネルギーを活用した水素社会実現に向けた取り組み」

(株)東芝 次世代エネルギー事業開発プロジェクトチーム

統括部長 大田 裕之 氏

平成29年度高圧ガス移動監視者講習会開催予定

〔指定する高圧ガス（可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス）を一定数量以上移動（輸送）するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります。〕

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
〔講習〕 平成29年11月21日(火)～22日(水) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 平成29年12月1日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 神奈川県川崎市 〔京急八丁畷 駅下車 徒歩15分〕	80名
〔講習〕 平成30年1月下旬を予定 (2日間講習) 〔検定〕 平成30年2月9日(金)	平成29年8月1日以降のホームページで ご確認ください。	50名

※申込用紙は、ホームページに掲載してある申込用紙をプリントアウトしてもご利用できます。

防災協議会事務局の「夏季休暇」について

平成29年度の夏季における事務所の休業日を下記のとおりといたします。ご不自由をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

平成29年8月14日(月)、15日(火)、16日(水)の3日間

【新入社員紹介】

おなまえ：田邊 ^{たなべ} 朱希 ^{あき} 入社年月日 平成29年5月16日

“よろしく、お願いいたします”

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局あてお送りください。

・社名変更 ・組織変更 ・住所変更 ・電話/FAX番号変更 ・協議会ご担当者変更等

【事務局：電話045-212-1454 FAX 045-212-1455】

E-mail:jimu@kanagawa-bousai-hpg.or.jp

URL:http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp

※「所定の様式」は、ホームページからもダウンロードできます。